

ARIBの動き

第65回規格会議開催のお知らせ

下記のとおり第65回規格会議を開催いたします。規格会議委員の皆様のご出席をお願いいたします。

記

- 1 日時 平成19年3月14日(水)午後2時から4時まで
- 2 場所 東海大学校友会館 望星の間 (霞が関ビル33階)
東京都千代田区霞が関3- 2- 5

なお、議案はARIBホームページ (<http://www.arib.or.jp/>) の「お知らせ」に2月14日(水)頃に掲載しますのでご参照ください。

第58回電波利用懇話会のご案内

「2.5GHz帯広帯域移動無線アクセスシステム 及び1.5GHz帯再編に関する技術的条件の概要」

我が国においては、高速インターネットアクセスに対する利用者ニーズの高まりから、DSLや光ファイバ等、大容量のデータ伝送が可能なブロードバンドサービスが順調に普及しつつあります。無線システムについては、第3世代携帯電話等によって音声のみならずデータ通信サービスが提供されていますが、第3世代携帯電話（3G／3.5G）のデータ伝送速度を上回る高度な無線ブロードバンドサービスを楽しみたいとのニーズが高まっています。

広帯域移動無線アクセスシステムは、第3世代携帯電話（3G／3.5G）の伝送速度（最大14Mbps）を上回る20～30Mbps程度以上の伝送速度を有するブロードバンド無線システムとして、米国電気電子技術者協会（IEEE）などの国際標準化団体において規格策定が行われ、国際電気通信連合無線通信部門

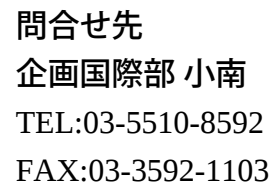
（ITU-R）において標準化に向けた作業が行われるなど、国内外において広帯域移動無線アクセスシステムの導入に向けた期待が高まっています。

当会では、今後の電波利用の発展に大きく係わる本件について、総務省から講師をお招きして説明していただくこととし、下記により第58回電波利用懇話会を開催することといたしました。

会員の皆様には、ぜひご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

- 1 日時 : 平成19年3月19日(月) 午後2時から3時30分まで
- 2 場所 : 東海大学校友会館 阿蘇の間 (霞が関ビル33階)
東京都千代田区霞が関3-2-5 TEL:03-3581-0121
- 3 題名 : 2.5GHz帯広帯域移動無線アクセスシステム及び
1.5GHz帯再編に関する技術的条件の概要
- 4 講師 : 総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課
課長補佐 新田 隆夫 様
- 5 対象 : ARIB正会員及び賛助会員
- 6 参加者 : 140名程度 (定員になり次第締め切らせていただきます)
- 7 申込先 : 当会ホームページのセミナー講演会等の申込受付まで
(<https://www.arib.or.jp/cgi-bin/semi/usr/general.cgi>)
- 8 参加費 : 無料
- 9 会場案内



第57回電波利用懇話会が開催される

去る2月5日に、東海大学校友会館（霞が関ビル）にて、第57回電波利用懇話会を開催しました。

今回は、総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹通信課 課長補佐の今井清春様を講師にお迎えし、「最新の無線LANの動向について」という演題で、無線LANの利用シーンと利用可能な周波数帯の拡大、高速無線LANの導入、無線局の登録制度、2.5GHz帯BWAシステムの固定的利用の検討等についてわかりやすくお話いただきました。

本報告書案については情報通信審議会からの一部答申もあり、受講者の皆様の関心も高く、定員の120名を超えるご来場をいただきました。

受講者の皆様には熱心に聴講をいただきました。



第57回電波利用懇話会の会場の様子

総務省
今井課長補佐

モバイル属性認証講演会 「モバイルコマースに向けた電子認証の将来像」が開催される

去る2月6日に、東海大学校友会館（霞が関ビル）にて、モバイルITフォーラム（mITF）（会長：羽鳥光俊）と独立行政法人情報通信研究機構（NICT）（理事長：長尾真）の共催による、モバイル属性認証講演会「モバイルコマースに向けた電子認証の将来像」（「情報セキュリティの日」関連行事）が、約150名のご参加をいただき開催されました。

お酒等の嗜好品販売、映画チケット販売、社内システム接続などのサービスを安心・安全かつ確実に提供・享受するためには、年齢、性別、役職などの属性情報を正しく認証する基盤が望まれています。システム接続などのモバイルITサービスを安心安全かつ確実に提供・享受するには、各モバイルキャリアで共通的に利用されるような属性認証基盤が望まれています。

モバイル属性認証講演会では、NICT及びmITFで研究開発してきたモバイルコマースにおける属性認証基盤について広く一般に理解いただくことをめざして、東京大学大学院情報理工学系研究科 教授 浅見徹様による招待講演のあと、mITFメンバー及びNICT委託研究受託社代表による講演が行われました。3時間半余りの長時間の公演にも拘らず、活発な質問応答がありました。

講演の最後に、属性認証のプロモーション用のビデオも公開され好評をいただきました。



モバイル属性認証講演会の会場の様子

編集後記

1月下旬、サンフランシスコ・ベイエリアを旅行してきました。訪問前の気候は冷害で、オレンジ等に被害が出て市場価格が2倍になっていました。しかし、1週間ほどの滞在期間中は昼間上着の必要もない程の気温と強い日差しでした。

ベイエリアは米国でも最もハイテクの進んでいる地域です。

今回、訪問して驚いたことが2つありました。1つは、プライムタイムの番組がHD(High Definition)放送で、それ以外の時間帯はSD(Standard Definition)放送になっていたことです。

アメリカ人はプログラムの内容がよければ画質に拘らない国民性である、と以前は思っていました。ラスベガスのNAB (National Association of Broadcasters)での展示は、日本とヨーロッパ勢がHDのデモをしていますが米国勢は無関心で、HD放送などするとは考えられませんでした。2つ目は、ショッピングモールから公衆電話が消えたことです。日本でも携帯電話の普及で公衆電話の台数が少なくなりましたが、ベイエリアでは極端でTelephoneの表示は残っていますが、その場に行っても撤去されていて、2時間余り探し、ようやくコンビニエンス・ストアの前で見つけ、電話することができました。日本の感覚で多めにコインを入れたところ、電話を切った後もコインは戻ってきませんでした。

(HK)